

製品名: PARK7/DJ1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01508**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 20 kDa; Observed MW: 20 kDa

抗原情報

遺伝子名	PARK7
別名	PARK7; Protein DJ-1; Oncogene DJ1; Parkinson disease protein 7
遺伝子 ID	11315
SwissProt ID	Q99497
免疫原	ヒト PARK7/DJ1 の合成ペプチド

背景

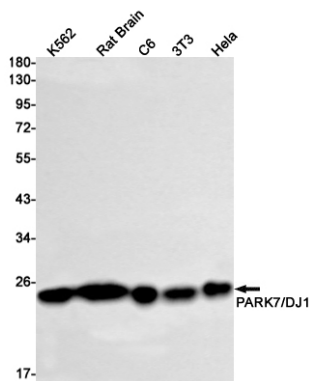
黒質緻密部のドーパミン作動性ニューロンにおけるミトコンドリア脱共役タンパク質 SLC25A14 および SLC25A27 の発現または安定

性を調節する役割を果たし、ペースメイキング時にL型チャンネルを介してニューロンに流入するカルシウムによって誘発される酸化ストレスを軽減する。Rasと協調して細胞形質転換を促進し、アンドロゲン受容体の転写を正に制御し、酸化ストレスの指標として機能する可能性がある。

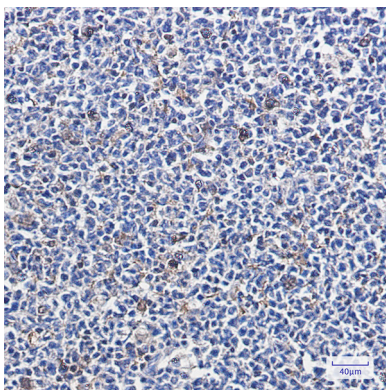
研究分野

神経科学

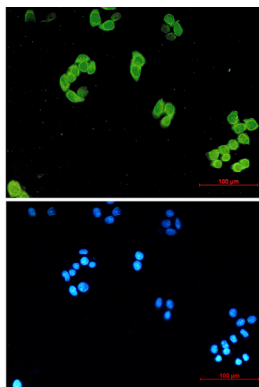
画像データ



PARK7/DJ1 抗体を使用した、K562、ラット脳、C6、3T3、Hela 溶解物中の PARK7/DJ1 のウエスタンブロット分析。



PARK7/DJ1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



Hela における PARK7/DJ1 (緑) の PARK7/DJ1 抗体および DAPI (青) を用いた免疫細胞化学分析